

2014年11月11日

東燃ゼネラル石油株式会社
問合せ先
EMG マーケティング合同会社
広報渉外統括部
03-6713-4400

バイオマス発電事業への出資について

東燃ゼネラル石油株式会社(本社:東京都港区、社長:武藤 潤、以下「当社」)は本年8月に電力事業部を設置し、電力事業を当社中期経営計画における成長戦略の一つと位置づけ、競争力のある電源開発を含めた発電事業と小売事業を組み合わせ、さらなる事業展開に向けた本格的検討を継続しております。

この度、電力事業展開の具体的な第一歩として、当社はイーレックスニューエナジー佐伯株式会社に10%出資することを決定しました。今回の出資を通じ、燃料調達・運転管理・電力販売のノウハウを蓄積していきます。

なお、当社の電源開発に関しては、発電用燃料の種類を問わず、有形無形の自社アセットを活用した競争力ある複数の火力発電事業について、環境アセスメントを視野に入れながら、立地、規模、電源の種類、経済性、パートナーなどの観点から検討を継続します。

東燃ゼネラルグループは、今後とも日本に根ざした最も優れたエネルギー企業として、時代の変化とお客様のニーズに迅速に対応し、常に付加価値の高いサービスを提供してまいります。

以上

イーレックスニューエナジー佐伯株式会社および発電所の概要

1.イーレックスニューエナジー佐伯株式会社

代表者	本名 均	
資本金(資本準備金含む)	1,608百万円	
出資比率	イーレックス株式会社	70%
	シグマパワーホールディングス合同会社 (株式会社東芝の100%子会社)	20%
	東燃ゼネラル石油株式会社	10%

2.発電所の概要

所在地	大分県佐伯市大字戸穴 337-1 (太平洋セメント株式会社大分工場佐伯プラント構内)
発電方式	パーム椰子殻を原料とするバイオマス発電
主燃料	PKS(Palm Kernel Shell:パーム椰子殻)
出力	50,000KW
商業運転開始	2016年秋